

2023年度 短期特別研修のご案内 (オンライン研修)

政策研究大学院大学 × 住宅金融支援機構

地域が抱える住まいとまちづくりの政策課題
に対する金融の活用方法

“住まい”と“まちづくり”
の課題解決に
“金融”の手法の活用
を考えてみませんか？

2023年10月23日（月）～10月27日（金）
2023年11月13日（月）～11月17日（金）

- ※ 同内容の研修を、上記2期間で行います。いずれかを選択できます。
- ※ ZOOMを活用したオンラインによる遠隔講義形式の研修となります。
インターネット環境が整っていれば、勤務先や自宅など、場所を選ばず受講いただくことができます。

主催：国立大学法人 政策研究大学院大学



お問い合わせ

短期特別研修事務局（まちづくりプログラム内）
03-6439-6197 tankikenshu2023@gmail.com

短期特別研修(オンライン研修)

地域が抱える住まいとまちづくりの政策課題 に対する金融の活用方法

研修のねらい

- 人口減少や少子高齢化などの社会状況を踏まえ、コンパクトなまちづくり、既成市街地の活性化、空家・空店舗対策、老朽化マンション対策、郊外団地の再生など、地域の抱える住まい・まちづくりの課題への対応がますます重要となっています。
- これらの課題に対応した政策を行政のみで担うことは難しく、資金や地域資源に関するノウハウ等を有する地域金融機関と行政とが連携し、それぞれの強みを持った政策を展開すること、すなわち、住まい・まちづくりの課題に対する「金融」の活用が必要となります。
- この研修は、「住まいとまちづくりの政策課題に対する金融の活用方法」を学び、上記の課題に対応していくための政策提案能力と問題解決能力を身につけることを目的としています。

研修の特徴

☞<研修カリキュラム>

- この研修では、講義のカリキュラムを、①政策論、②学術的アプローチ、③実践的アプローチの3つのテーマに分け、基礎から応用、一般論から具体論というかたちで体系的・立体的に構成し、受講者の理解度を深めるよう工夫しています。
- 各講義で取り扱うテーマも、地域が直面する住まい・まちづくりに関する政策課題を踏まえたものとしています。
- また、一方通行の講義だけでなく、受講者への問い合わせ、ディスカッション、グループワークを含んだ内容を取り入れることで、現実の政策課題解決に向けた思考トレーニングが行われるよう工夫しております。
さらに、グループワークを通じた受講者間の情報交換やネットワークづくりを期待しています。
- 講義は、学識者や都市・住宅・金融の分野の第一線の専門家により行います。
- オンラインによる5日間の短期研修です。

対象者

- 地方公共団体と地域金融機関（地方銀行、信用金庫及び信用組合）にお勤めの方を対象としています。

その他

- 本研修は、政策研究大学院大学と住宅金融支援機構が連携して行います。

<研修の概要>

研修期間 2023年10月23日(月)～10月27日(金)

2023年11月13日(月)～11月17日(金)

※ 同内容の研修を、上記2期間で行います。いずれかを選択できます。

研修方法 ZOOMを利用したオンラインによる遠隔講義形式

ZOOMを利用するインターネット環境が整っていれば、勤務先や自宅など場所を選ばず受講いただくことができます(※)。

(※安全性が高い通信網および必要なセキュリティ対策が施された端末等 詳細は募集要項参照)

定員 30名程度(各期間概ね15名ずつ)

受講費用 15,000円(税込)

申込期間 2023年7月3日(月)～

申込方法 政策研究大学院大学ホームページにて、募集要項、申込票を入手いただけます。

(<http://www.grips.ac.jp/jp/training2/domestic/>)

申込票に必要事項を記載の上、下記メールアドレス宛お送りいただくか、下記QRコードから申込フォームに入力し、お申し込み下さい。

お問い合わせ 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

政策研究大学院大学 まちづくりプログラム

教授:高橋 正史

TEL: 03-6439-6197

E-mail: tankikenshu2023@gmail.com



お申込みはこちら↑

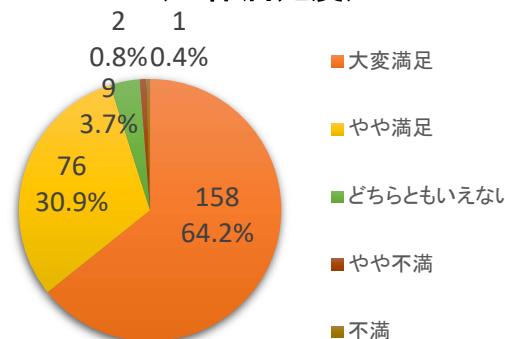
<参考：過年度の研修結果の概要>

この研修は、ご参加いただいた多くの皆様にご満足いただいています。
満足度 95.1%

*「大変満足」と「やや満足」の合計値

<本研修の受講者の声(例)>

過去5年のアンケート結果 (全体満足度)



オンライン研修の場合、通信環境が研修の満足度に大きく影響します。

受講される際に可能な限り、通信環境・設備を整えていただくことをお奨めします。

* 詳細はお問い合わせください。

- ・講義の内容と順番が、概論から各論へと理解を深める形になっており、わかりやすかったです。(A県受講者)
- ・金融面を学ぶ機会が乏しく、財源確保に頭を悩ませていたが、ファンド等様々な手法を学べて今後に生かせそうです。(B市受講者)
- ・金融機関目線での各事業の話や他自治体の問題点や課題解決の話を聞くことができ、大変勉強になる研修だった。今後の業務に是非活かしていきたい。(C県受講者)
- ・金融面からの視点と知識を養うことができ、今後の業務で知ってるといいのとでは差が出ると感じた。今まで金融機関に相談というと敷居が高いと感じたが、まず金融機関に相談してみるという考え方を得ることができたのは大きいと思った。(D市受講者)
- ・本当に幅広く、横断的に住まいとまちづくりの政策課題に対する金融の活用方法を学べましたし、気づきも多くありました。他自治体の課題等も伺えて、刺激になりました。得られた知識を今後の業務に活かすとともに、府内、市町村への共有もしていきたいと思います。(E県受講者)
- ・住宅関連法制や施策、事例等を網羅的に学ぶことができた。特に金融という分野はなかなか行政内で学ぶことができないところなので、そこが補足でき、今後の業務に大変に参考になると思った。また、グループ討議についても、問題を共有でき、ほかの市町村でも同じ悩みを抱えていることや、良い対応策を聞くことができた。(F市受講者)
- ・他業種、特に地方公共団体の方々と知識を深める機会があり、地元の自治体の政策等を考慮する必要があるという「気付き」をいただけたのが最もよかったです。(G信用金庫受講者)

<研修カリキュラム>

	1限 8:55~10:20	2限 10:30~11:55	3限 12:40~14:05	4限 14:15~15:40	5限 15:50~17:15
月	開講	「都市、住宅・建築 関連法制」	「住宅政策の現状」	「都市政策の現状」	「郊外団地再生事 業と金融課題」
火	「金融に関する基礎 知識」	「ファイナンスをめぐ る基本的な考え方」	「住宅ローン概論」	「住宅金融制度と地 域連携の取組」	「グループ討議」
水	「官民連携事業の 金融支援」	「民間都市開発の 金融制度」	「地方創生に資する 金融機関の特徴的 な取組事例」	「再開発事業の実 際とファイナンス」	「グループ討議」
木	「マンション管理・再 生と金融課題」	「空家対策の取組 事例と金融課題」	「災害復興と金融対 応事例」	「グループ討議」	「グループ討議」
金	「住宅マーケットの 調査研究」	「受講者発表会」	「受講者発表会」	「受講者発表会」	閉講

◆講義（計13コマ）

①政策論（住宅・都市政策論）（3コマ）

- ・都市・住宅関連法制 … 都市・住宅政策に関連する法令の体系的な解説
- ・住宅政策の現状 … 国土交通省担当官による住宅政策の最新情報の解説
- ・都市政策の現状 … 国土交通省担当官による都市政策の最新情報の解説

②学術的アプローチ（住宅金融論）（3コマ）

- ・金融に関する基礎知識 … 研修全体の前提となる、金融に関する各種用語などの基礎解説
- ・ファイナンスをめぐる基本的な考え方 … 資金の融資や出資を行う際に基礎となる視点や知識の解説
- ・住宅ローン概論 … 住宅ローンの仕組みについての基礎解説

③実践的アプローチ（政策課題解決への金融の活用）（9コマ）

〈金融機関との連携による政策課題解決〉

- ・住宅金融制度と地域連携の取組 … 住宅金融支援機構の各種金融制度と機構における地域連携の取組事例
- ・官民連携事業の金融支援 … PPP/PFIの概要とまちづくりでの活用、各関係者の役割とファイナンス
- ・民間都市開発の金融制度 … 民都機構によるまちづくり支援制度とその活用事例
- ・地方創生に資する金融機関の特徴的な取組事例 … 金融機関と地方公共団体とが連携した地方創生に資する取組事例、金融機関の役割

〈各政策課題に対する取組と金融対応〉

- ・郊外団地の再生事業と金融課題 … 郊外団地の再生事業の実践例とその成果、そこで生じる金融課題
- ・再開発事業の実際とファイナンス … 実際の再開発事業における事業の進め方とファイナンスの実態
- ・マンション管理・再生と金融課題 … マンション管理・再生の現状、資金不足対策等の金融課題
- ・空家対策の取組事例と金融課題 … 空家対策の現状、空家の発生抑制や活用に関する資金の調達方法
- ・災害復興と金融対応事例 … 災害復興に資する金融関連施策の取組事例

◆実務演習（1コマ）

- ・住宅マーケットの調査研究 … 不動産の価格決定要因の分析を題材に、データに基づく政策の実証分析演習

◆グループワーク（7コマ）

- … 5名程度のグループ討議、地域の政策課題に対応した金融による解決方法を含む討議成果の発表